

スキー授業終了

2月24日のピリカスキー場へのスキー遠足を最後に、今年度のスキー学習が終了しました。遠足を延期した関係で、当初の予定より2回多く、種川のスキー場での授業も実施することができました。子どもたちの体調管理やスキー道具類の準備、スキー場の整備など、保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



さて、今年は小さな子たちが多く、うまく滑るところまで到達できずに、スキーを嫌いになってしまわないかが気になっていました。でも今は楽しそうに滑る1・2年生たちの姿を見て、ほっと一安心しています。こうした1・2年生の姿は、授業の中で子どもたちが頑張ったお陰でもあります、夜間スキーなどで、上級生の子たちや、中学生・高校生の子たちが、やさしく1・2年生の子たちに接してくれ、いろいろと教えてくれたお陰だと、もっぱら職員室の中で話題になっています。授業の中でしっかりと教わることで、できるようになったのはもちろんですが、スキーを楽しんでいる身近な先輩たちの姿やその言葉から小さな子たちが受けた影響は、確かにとても大きかったなと思いました。先輩たち、ありがとうございます。こうした計画されたものではない教育活動(教育の世界では、隠れた教育課程:ヒドゥンカリキュラムと呼んでいます。)が、いろいろな場面に見られるのが、種川小学校の魅力なのかなと思います。1・2年生たち、これからも、北海道の子らしく、寒い冬を大いに楽しんでほしいものです。

ブックン

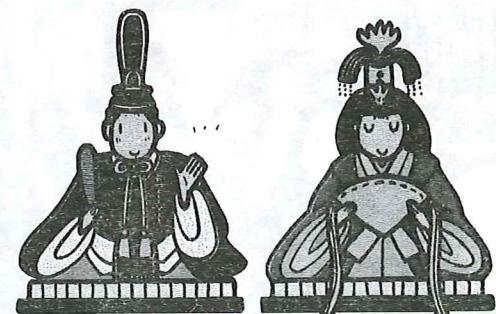
右の写真は、月に一回バスで図書館の本を運んできて、貸し出しを行ってくれる「ブックン」の活動の様子です。読書は人の大切な楽しみです。この楽しさをぜひ、子どもたちみんなにわかってもらいたいと思います。私たち大人にできる最大のことは、いつでも本に触れる事のできる環境をつくってあげること、そして身近な大人が読書を楽しんでいる姿を見せてあげることだと思います。

読書好きの子が、大勢育ってくれますように！



3月行事予定

- 1日(水)ミニコンサート、給食試食会、参観日、ブックン
- 3日(金)児童会役員選挙 吉田先生書写 今金養護学校卒業式
- 6日(月)朝会(任命式)吉田先生書写 マザーズぱけっとさん読み聞かせ
- 8日(水)外国語(アマンダ先生) 職員会議
- 9日(木)PTA全体会議
- 10日(金)貯金日
- 15日(水)卒業式総練習 今金中学校卒業式
- 17日(金)種川小学校卒業式
- 20日(月)春分の日
- 22日(水)今金小学校卒業式
- 24日(金)修了式 異任式
- 27日(月)~4月5日(水)年度末・年度初め休業日



種小便り

今金町立種川小学校通信 平成29年2月28日発行 第12号

学校教育目標

- 学び合い 高め合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- みんなで協力し合う子ども
- たくましく 健康な子ども

冬の楽しみ

今金町立種川小学校 教頭 佐々木 朗

私は、小さい頃、親によくこんなことを言われた。「回れ右をしたら、運動会ではいつも一位なのにねえ。」スポーツにおいては、ほとんど日の目を見ることがない子だった。

大学を出て、日高管内の小学校に赴任した時、無線仲間(わたしは、中学生からアマチュア無線をやっており、私の一番の得意分野だった。)から、「学校の先生が、スキーぐらいできなきゃ。」と半ば強制的に誘われた。ボーナスの半分程を使い、初心者には似合わないスキー式を揃えるはめになった。

初めて仲間に連れて行かれたのは札幌国際スキー場。着くなりゴンドラで、頂上まで上がった。「上がったら、下りるしかないよなあ。」という励ましをもらって、初めて雪の上でスキーをはいた。もちろん、運動神経を生まれつきあまり持っていない私は、立っては転びの繰り返しだった。

「足は「ハ」の字に開いて。」「右足に少し重心をかけて。」トランシーバーで私の耳に、仲間からの指示が届く。ウェアを雪まみれにしながら、全てボーゲンで、何とか下りてきた。「スキーって楽しいべ。」私は心からうなずいた。

その冬、日高スキー場へ何回か通い、一泊で夜のニセコヒラフを滑った時には、照明を浴びて、何か自分が映画の主人公にでもなったような気分だった。

周りの人たちに比べれば、決して上手いわけではないが、それ以来、今は、「好きなスポーツは?」と聞かれれば、「スキー。」と答えることができる私がいる。

さて、種川小学校では1年生からスキーが始まる。最初、思うように体が動かない1年生の気持ちがとてもよくわかる。ところが子どもたちの上達は大人が考える以上に速い。さっきまで、ロープトウを手伝ってもらっていた子が一人でロープを握って上がっている。さっきまで、滑ってはころんでいた子が、下まで一人で下りてきている。子どもたちに教えている時も、そして見ていているだけでも、その上達ぶりをみると、自然と笑顔が出てくる。

24日に行われた学校の授業の最後であるピリカスキーではみんな笑顔の表情いっぱいになった。私も子どもたちと滑る機会に恵まれたが、みんな「スキーは楽しい。」と口をそろえて言う。

北国に住む子どもたちには、やはり冬のスポーツは経験させたい。学校全体でスキーに取り組む学校は年々減っていくと聞く。そんな中、スキー学習を教育内容に取り入れている今金の教育、そして30年以上も前、私がスキーと出会う機会を与えてくれた諸先輩に感謝をしたい。

